

シンポジウム



検証！河村名古屋市政 ～市民税減税の本当のねらいは？～

党市議団が行った市政アンケートでは、河村市政について、「評価する」と「評価しない」が半々でした。

河村市政の実態は、目玉政策の市民税減税により財源不足を発生させ、公的事業の民営化、企業参入を進め、官制ワーキングプアをつくっています。

市政への要望は、「無駄な公共事業の削減」がトップですが、天守閣木造復元に固執しています。

4月23日が市長選挙の投票日です。河村市政の本質を明らかにし、市政を市民本位に変える方策をご一緒に考えましょう。（事前の参加申し込みと参加費は不要です）



地下鉄名港線 名古屋港駅下車
1番出口から南へ 徒歩2分

2017年2月4日(土)

開場 13時 開会 13時30分

会場 名古屋港湾会館 2階 第1会議室

(左下地図をご参照ください)

開会 あいさつ

第1部 パネリストからの報告

- 河村「減税」の実態とその本質的問題
遠藤宏一 大阪市立大学名誉教授
- 子どもの貧困と自治体の公的責任
中村強士 日本福祉大学准教授
- 党市議団の政策論戦・市長選に向けて

第2部 現場からの報告

保育園 学校給食 臨時教員
地域の取り組み他
フロアからの質疑 まとめ

問い合わせ 日本共産党名古屋市議団

電話 052(972)2071 / FAX 052(972)4190

主催：日本共産党名古屋市議団